

業務効率化に「レセコン連動レジ」提案 1日のレジ関連業務を80分短縮

アステム (福岡市)

医療用医薬品卸売業に加え、医療機器、医療材料、診断試薬など、医療関連の商品・システム・サービスを幅広く手掛けるアステム。調剤薬局向けのソリューションの1つとして、会計業務を効率化するPOSレジを取り扱う。同社が提案するのは、グッドサイクルシステム（東京）の調剤薬局専用POSレジ「GooCoPOS（ぐーぼす）」。レセプトコンピューターと連動し、患者の窓口負担金額を自動的に表示。自動釣銭機とも接続できるなど、レジ業務に関連するスタッフの負担を軽減する。薬剤師の対人業務の充実が求められる中、機械化による“患者と向き合う時間の創出”を目指す。

患者負担額を自動表示 レジへの金額入力不要

「GooCoPOS」の主な特長は、

- ①調剤レセコンと自動連携
- ②調剤と物販の同時会計
- ③クレジットカードや電子マネーへの対応
- ④未収金管理
- ⑤仕訳データ出力
- ⑥経費精算管理機能

で、調剤薬局の業務の流れに即したメリットが満載だ（図表①）。

①ではGooCoPOSが、調剤レセコンとNSIPS（調剤システム処方IF共有仕様）で接続可能なことが鍵となる。患者の窓口負担金が自動的にレジ画面に表示されるため、スタッフが金額を打ち込む必

要がなく、正確な会計ができる。多様なベンダーのレセコンと連携可能である。

②は、患者が保険調剤の会計時に、一般用医薬品や日用品、食品の同時購入を希望するケース。GooCoPOSなら、スピーディーに同時会計し、レシートを別々に発行できる。セルフメディケーション税制にも対応している。家族会計も可能で、例えば小児科の処方箋を多く受け付ける薬局では、子どもの処方箋とともに、保護者や祖父母が自身の処方箋を持参することがある。その際、速やかにトータルの調剤会計金額が分かる。

自動釣銭機にも接続可能 現金の入出金を一括管理

③は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、「ニューノーマル（新常态）」としてニーズが高い項目だ。GooCoPOSはオプションの自動釣銭機と接続が可能で、キャッシュレス決済にも対応しているため、金銭授受に関するスタッフのストレスを軽減するとともに、非接触による新型コロナ対策にもなる。

自動釣銭機の現金投入口を患者側に向けることで、スタッフが現金に触れる機会を減らせる。現金投入口の上には患者側に向けたサブディスプレイがあり、直感的な操作を支援。釣銭の排出は、薬局用画面でレセコン会計情報をもとに請求金額を確定した後、▷入金

した患者が任意のタイミングでサブディスプレイの確定ボタンを押し、自動釣銭機を稼働▷請求金額を超える入金に連動して自動釣銭機を稼働——の2方法から選ぶ。

クレジットカード、電子マネーによるタッチ決済、QRコード決済では、それぞれの端末を接続して対応する。

④⑤⑥は、経営に関わるスタッフや薬剤師にとって見逃せないメリットだ。レセコンには患者の情報が集積されているため、薬を渡した当日にレジに入金がなければ「未収金発生」と判断し、以降、レジの会計画面に表示される。薬歴へのメモ等での申し送りよりも確実な記録になるわけだ。次回来局時に入金があれば、会計上は、「未収金回収」として管理する。

会計処理関連では、処理日時に基づいて仕訳データを出力して、正確に現金を管理。日報作成の手間を大幅に削減できる。経費精算管理では、経費の支払、小分け販売、現金仕入れが管理可能で、薬局における現金の入出金は全てこのシステムで完結するという。

朝の釣銭補充は不要 夜は売上金回収のみ

GooCoPOSは、設置スペースも比較的小さくて済む。調剤専用POSレジ本体として、標準装備品（15.6インチタッチパネル）、小型モデル（10.1インチタッチパネル）の2種類から選択できる。

図表① GooCoPOS の主な特長

日付	時刻	金額	種別	ステータス
2019/02/02	09:50	2130	現金	入金済
2019/02/02	09:55	40395	現金	入金済
2019/02/02	09:58	40304	現金	入金済
2019/02/02	10:00	900	現金	入金済
2019/02/02	10:05	900	現金	入金済
2019/02/02	10:10	900	現金	入金済

各社レセコンと連携

調剤レセコンとのNSIPS 接続により、患者さんの窓口会計を自動的に表示、正確な会計をすることができます。

品名	数量	単価	金額
処方箋	1	1000	1000
合計			1000

調剤 / 物販同時会計

患者さんの調剤窓口会計と OTC / 一般品を同時会計することができます。レジ運用をスピーディーにこなすことができます。

導入する薬局の形態はさまざま。大型チェーンが導入するケース、個人経営の薬局で業務効率化に活用するケースがあり、薬局の状況に応じて、購入またはリース会社を介したリース導入が可能だ。グッドサイクルシステムによると、レジ関係は補助金が充実しており、補助金を活用して購入する薬局や、一括リースでチェーン内の各店舗に導入する事例がある。

同社は導入薬局からの反響として、「業務効率化に役に立った」「レジ関連の業務時間が短縮した」「レジの打ち間違いがなくなった」との声が多く寄せられているとする。オプションの自動釣銭機との連動で、朝の開店時の釣銭準備から解放され、閉店時のレジ締め負担が軽減されたという。

具体的には、朝、金庫から釣銭を準備してレジに補充することなく業務を始め、夜は売上を手計算することなく、翌日用の釣銭を残してレジから売上金を取り出すだけ——。同社の調べでは、レジ業務に要する時間が1日140分から

項目	金額
現金売上	2,130
現金入金	40,795
現金合計	42,925
現金仕入れ	1,441
現金支払	1,216
現金残高	3,268

未収金管理

当日、レジ入金がなければ未収金発生、入金された日に未収金回収。施設ごとの未収金入金も一括管理。管理帳票も随時出力可能。

正確な現金管理・仕訳データ出力

処理日時で現金の発生を全て管理。処方変更の場合でも、正確に現金売上を管理します。日報作成の手間を大幅削減できます。

経費精算管理

経費支払、小分け販売、現金仕入れも、全てレジで管理可能。薬局における現金の入出金は、全てこのシステムで完結します。

61分へ、約80分短くなった。その時間を患者とのコミュニケーションなどに充当できるわけだ。

競合品との差別化について、グッドサイクルシステムの担当者は「電子薬歴、レセコンなどを取り扱ってきた当社の経験に基づき、調剤薬局に適した機能の製品を提供している。今後の開発にも活かしていきたい」とする。新型コロナウイルス感染症のまん延が続く中、患者との金銭のやり取りを極力減らしたいというニーズは根強いとみられ、GooCoPOS の新たなオプションとして、フルセルフレジ (写真①) も期待される。

薬局業務の DX 化で薬剤師は対人業務に注力

同社は「薬局業務の向上」と「サービスの向上」をキーワードに、電子薬歴「スマート薬歴 GooCo (グーコ)」、GooCo と一体型で運用できるクラウドレセコン「サキレセ!」、服薬フォローアップ&オンライン服薬指導対応ツール「Followcare」などを取り扱う。従

写真① フルセルフレジ (参考)



来レジの取り扱いはなかったが、電子薬歴など他製品を通じて調剤薬局や薬剤師の話を聞く中で、POS レジのニーズを感じたという。

同社によると、調剤薬局でレジの更新に関心が高まったのには、2つのきっかけがあった。1つは、2019年10月の消費税10%への引き上げと軽減税率導入。もう1つはコロナ禍で、「非接触」の自動釣銭機とキャッシュレス決済が注目されたこと。その結果、POS レジの導入に拍車がかかったと指摘する。薬局が対物業務から対人業務にシフトする潮流もある。機械化によって業務を効率化し、薬剤師が患者に向き合う時間を創出する動きだ。

同社の担当者は「調剤報酬体系を見ても、薬局の対人業務への注力が求められている。薬局運営を DX (デジタルトランスフォーメーション) 化し、薬剤師が患者に向き合う時間を生み出すためのさまざまなツールを用意しているので、ぜひ相談していただきたい」と話している。